

(1) 英語教育における授業モデルの検討

英語教育FD/ICT活用研究委員会は、22年7月、9月、12月、23年2月の4回開催し、学士力の実現に求められるICT活用の授業モデルの検討を行った。

グローバル化する社会で活躍できる人材育成の英語教育に向け、「発表、交渉、表現力」などの強化を図るために、英語に接する時間を増し、体験させ、学生が相互に刺激し学び合える授業デザインを2例をとりあげることにした。

一つは、英語で情報を理解して考えをまとめ、対話を通じて情報や意見交換が可能となるよう、ICTを活用して多読・多聴の訓練やグループワーク、ピアワークなどを行い、学生の主体的な学びを積極化させる授業モデルとした。

二つは、専門分野で英語力を発揮できるように、適切なレベルの英語語彙・英語表現の使用ができるよう、英語と専門分野の連携、協働による授業モデルとした。